

2020・教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ 「環境体験教室」			
題名・副題	江戸時代からの未来へつながるヒント ～エコな江戸時代の知恵を学ぼう～			
月日・時間	9月13日(日) 10:00~12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館 2階・実験室			
部会・講師名	大気・水環境部会 大岩俊雄	参加数	6組12名	講師数 5名
写真				
	風呂敷で包んで結ぶ体験		江戸時代のエコロジーを説明	
				
	新聞紙でスリッパ作り		稲わらで縄をなう体験に挑戦	
成果解説	<p>この教室は、江戸時代の生活から、現代生活の私たちが参考になる事柄をエコロジーの視点で考えることが目的。授業では、江戸時代の生活背景を解説しながら教材を用いて便利さや無駄が少ないエコを体験しました。</p> <p>始めに、江戸時代は、外国から食料、エネルギーなどがほとんど入らず、現代のような大量消費、使い捨てではなく、ものを大事に使用し、再利用、再使用していたことを説明。江戸時代の「打ち水」の習慣や、資源活用の3Rを上回る5Rの時代だったことなどにも触れ、江戸時代の知恵を学びました。また、現在の横浜市の燃えるゴミの行方について動画で理解しました。</p> <p>エコ体験では、使い捨てのレジ袋の話から包装手段としてのフロシキの有用性について解説し、実際に風呂敷を使って包み、結ぶ体験をしました。また、古新聞紙を活用したスリッパ作りに保護者と一緒に挑戦。最後に、稲わらで縄をなう動画を見て、縄をなう体験に挑戦しました。スリッパと縄は持ち帰りました。この教室は今回が初めての授業、授業の最後ではやや時間が足りず、今後、時間配分など工夫したい。</p>			